

共生社会特論
2015年度 第1回

この授業について

この授業について

- この授業は久木田水生と小川泰弘によって分担されている。
- 以下の説明は主に久木田の担当のパートについてである。

授業の目的

- 本講義では、人間同士の「技術を介した共生」に加えて、「技術と人間の共生」という問題について考える。前者に関しては、使用する言語が異なる人々の共生を支援する機械翻訳について、自然言語処理の基本的な技術を含めて解説する。後者に関しては、近年発達の著しいロボット技術の社会的応用（ドライバーレスカー、ドローン、コンパニオンロボット、軍事ロボットなど）に関する倫理的問題について考察し、ディスカッションをする。

授業で扱う話題

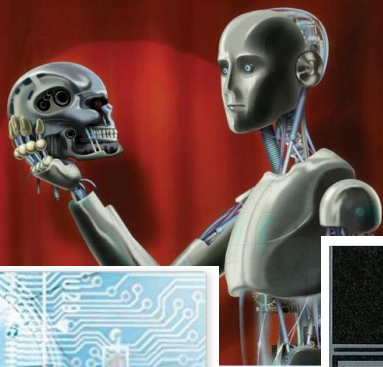
- ロボット技術は人間や社会をどのように変化させるか（させつつあるか）？
- 自律型兵器を使うことは非人道的か？
- 道徳的判断を機械に委ねることはどこまで許容されるか？
- ペットロボットやコンパニオンロボットは有害か？
- ロボット技術とプライバシー
- ロボットや人工知能は人間にとって脅威になるのか？

THE DECLINE OF INTERNATIONAL STUDIES

FOREIGN AFFAIRS

JULY/AUGUST 2015

Hi, Robot Work and Life in the Age of Automation



AIの衝撃

人工知能は人類の敵か

小林雅一

脳科学と コンピュータの融合が 私たちの常識を覆す!

自動運転車、ドローン、ロボット兵器、
雇用・産業構造、医療・介護、芸術……

「自ら学んで成長する能力」を

と次世代口
をどのように

講談社現代新書

中間層の5割が失業 経営者が読む2025年 安部清輔15人の著書
秘書も記者も料理も パリ人は本道に10着?

AERA

「特集」
AIに奪われる仕事



15.6.15
No.26
増大
アール

情報処理 別冊
Vol.56 No.1 連巻 598号

特集 新年特別企画

人類とICTの未来： シンギュラリティまで 30年?

情報処理学会
Information Processing Society of Japan

機械との競争

「テクノロジー失業」
の襲来!! MIT(マサチューセッツ工科大学/研究チーム)
による恐るべき最新
レポート!! アメリカ経済学界で
「言語は真実を隠す!!」

エリック・プリニョルフソン/アンドリュー・マカフィー 著 / 村井 直子 訳 / 日経BP社

HOW COMPUTERS CAN TAKE OUR JOBS

コンピュータが 仕事を奪う

新井紀子
HIDEKI NISHII

日経BP社

ジェームズ・バラット
JAMES BARRETT

水谷 淳
JUN MIZUTANI

人工知能

人類最悪にして最後の発明

Our Final Invention
ADVANCED INTELLIGENCE AND THE END OF THE HUMAN ERA

ダイヤモンド社

「シンギュラリティ」到来後の
恐るべき未来を描いた
全米で話題騒然の書、
ついに日本語版!

「コンピュータが世界を
乗っ取るという危険は、
すでに現実のものだ」
— スティーブン・ホーキング

2045年
AIは
人類を滅ぼす

授業の方法

- 講義とディスカッションによる。受講生は講義を聴くだけでなく、意見や疑問を表明するなど積極的な参加が求められる。また毎回の授業の最後には、その日の授業を受けて考えたことや疑問に思ったことなどを書いて提出してもらう。

スケジュール

- 10月 6日 久木田 1
- 10月13日 小川 1
- 10月20日 小川 2
- 10月27日 小川 3
- 11月10日 久木田 2
- 11月17日 久木田 3
- 11月24日 久木田 4
- 12月 1日 小川 4
- 12月 8日 小川 5
- 12月15日 小川 6
- 12月22日 小川 7
- 1月12日 久木田 5
- 1月19日 久木田 6
- 1月26日 久木田 7

自己紹介

- 久木田水生
- 専門は言語哲学、技術哲学、技術倫理。テクノロジーと人間、社会の間の相互作用に興味がある。近年は特にロボット技術に焦点を当てている。
- 2005年、京都大学で博士（文学）の学位を取得し、2014年より名古屋大学大学院情報科学研究科に着任。
- メールアドレス： minao.kukita@is.nagoya-u.ac.jp
- ウェブページ： <http://www.info.human.nagoya-u.ac.jp/lab/phil/kukita/>

自己紹介



執筆協力



共著



訳と解説
共著



訳と解説
共著

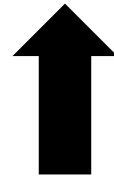
本講義のテーマについてもう少し

共生社会とは？

- 異なる人種や民族、異なる宗教・文化・言語などが一つの国家・社会の中に平和的に共存している状態。
- このとき重要なのは異なる人間集団がそれぞれに持っている利害や選好が、激しい衝突や一方的な抑圧・搾取が起こらないような仕方で調整されていること。

テクノロジーとの共生とは

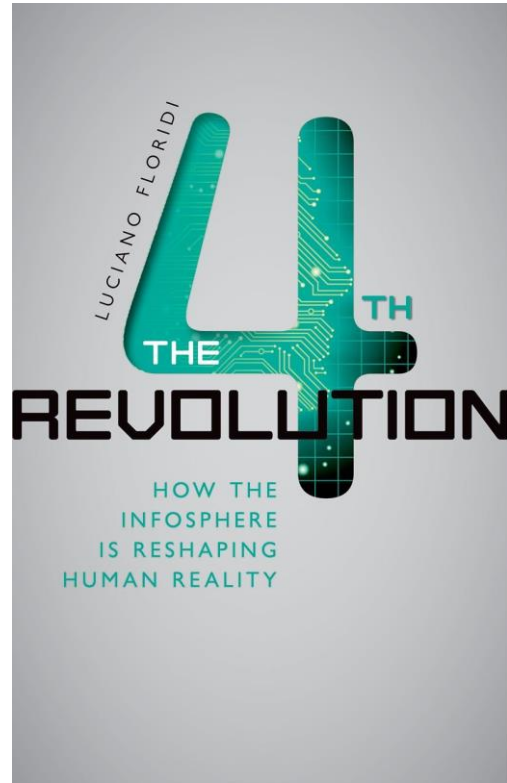
- テクノロジーには利害や選好はない。単なる道具。
- テクノロジーと人間の共生というのは奇妙な表現ではないか？



- テクノロジーと人間、社会の間の複雑で密接な相互作用、ロボットのよう存在者に対して人間が持つ感情的なつながりを考えるには、テクノロジーを単なる道具以上のものとしてみる視点が重要である。

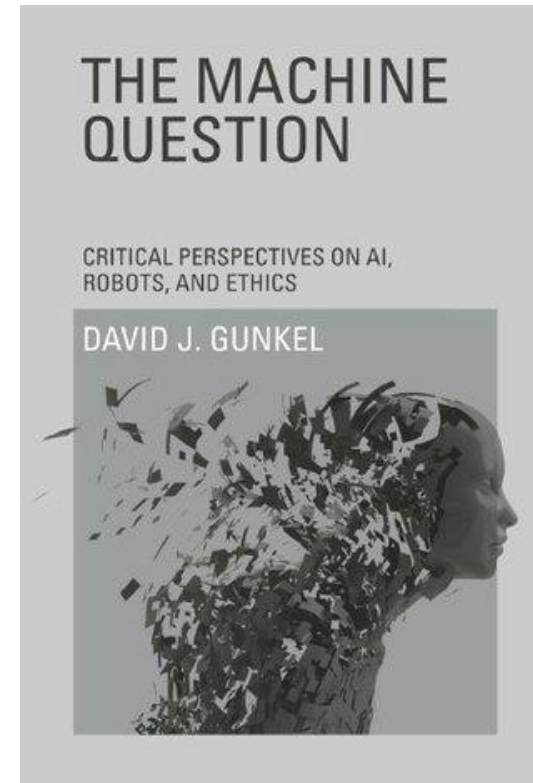
テクノロジーのインパクト：二つの「革命」

Luciano Floridi
The 4th Revolution
(2014)



知的存在者としての人間の地位

David J. Gunkel
The Machine Question
(2012)



道徳存在者としての人間の地位